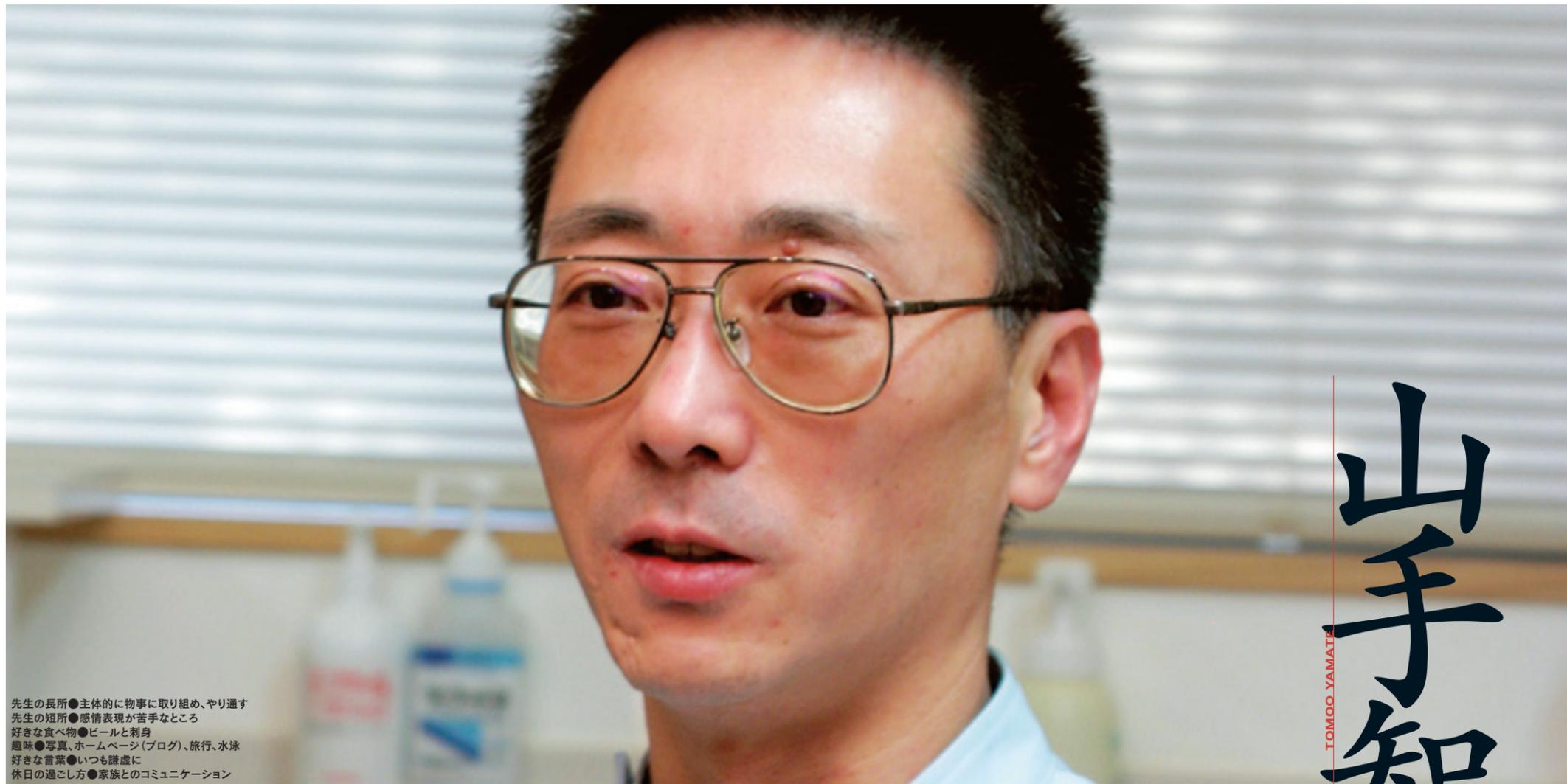


## 3男のアレルギー発症を機に 生活環境を重視した医療を実践



# 山手智夫

やまて小児科・アレルギー科  
院長

File  
35

低身長治療など小児科  
専門医として活躍してい  
た山手先生に、大きな転  
機が訪れたのは、199  
3年のこと。生まれたば  
かりの3男が重症のアト  
ピー性皮膚炎と食物アレ  
ルギーを発症した。「医  
師としての不勉強を猛省  
しながら、原因から治療  
法に至るまでアレルギー  
を徹底的に学びました。  
民間療法でも、良い治療  
は積極的に採り入れてい  
ます」

病院名●やまて小児科・アレルギー科  
住所●山口県光市浅江1-10-12  
TEL●0833-72-5041  
役職●院長  
治療を得意とする病氣●  
低身長、アトピーなどアレルギー疾患  
外来診察曜日●月～土

リニックスを開業した。  
「アレルギーは増加の一  
途をたどっていますが、  
患者会と連携し、皆さん  
の知恵と力を借りなが  
ら、より良い治療プログ  
ラムをつくっていきたい  
ですね」

先生の長所●主体的に物事に取り組み、やり通す  
先生の短所●感情表現が苦手なところ  
好きな食べ物●ビールと刺身  
趣味●写真、ホームページ(ブログ)、旅行、水泳  
好きな言葉●いつも謙虚に  
休日の過ごし方●家族とのコミュニケーション

年間400例を超える  
子どもの手術をこなす広  
島市民病院小児外科。未  
熟児センターや小児循環  
器科を併せ持つ同院で、  
致命的な新生児外科症例  
(年間約30例)に対する緊  
急手術を担うのが高田佳  
輝先生だ。

「30年以上、小児外科一  
筋ですから」と控え目だ  
が、「ほとんどの先天異常  
を経験したことが自信に  
なっています」とキツパ  
リ。超音波検査で、さま  
ざまな異常が出生前に発  
見され、動転する家族に  
対しては、十分なインフ  
ォームド・コンセントを  
実施する。「平易な言葉で、  
じっくり説明していま  
す」。優しくも間合いの良  
いその口調は、患者と家  
族に大きな安心感を与え  
ている。

## 新生児外科専門に30年余り 小児外科における草分け的存在



# 高田佳輝

File  
36

YOSHITERU TAKADA  
広島市民病院  
小児外科主任部長

病院名●広島市民病院  
住所●広島市中区基町7-33  
TEL●082-221-2291  
役職●小児外科主任部長  
治療を得意とする病氣●新生児外科、  
小児泌尿器系、消化器一般、漏斗胸  
外来診察曜日●月、水、木

先生の長所●患者さんにやさしく接する  
先生の短所●持続力がない  
好きな食べ物●うなぎ、シチュー  
趣味●映画鑑賞、旅行、読書  
好きな言葉●一期一会  
休日の過ごし方●映画、読書

「検査、治療は患者さんの家族と一緒に行うもの。家族の協力がなければ、良い医療はできない。家族はコ・メディカルの一員でもあるべき」と訴える坂野堯先生。

「自分の子どもが病気であることを現実として受け止めなければ本当の治療は始まらない。辛いとは思いますが、すべてを医者任せではいけません」

病院名●県立広島病院  
住所●広島市南区  
宇品神田1-5-54  
TEL●082-254-1818  
役職●小児科部長  
治療を得意とする病気●  
小児腎疾患、臨床免疫  
外来診察曜日●  
一般外来:月、水、金の午前  
慢性疾患外来:水、木の午後

# 坂野堯

TAKASHI SAKANO  
県立広島病院  
小児科部長

File 38

すべての患者の家族に対して、病気の理解を求め、大変な労力だ。「難治性の病気がわかって何でうちの子が…」とパニック状態になる方もいます。しかし、治療をしながらでも、より良く生きていくためのQOLの改善は可能です。放り出すことだけは決して欲しくありません」

専門は小児神経。来院する子どもの8割以上が神経系で、そのほとんどがてんかん患者だ。「状態が良くなると表情や言動に変化があるんです。それを見逃さないことが次のステップにつながる。治療が進んでい

ることを患者さんやご家族と認識しあうことが信頼を得る第一歩です」近年、無責任な親が多くなったと言われるが、「難治性の患者を持つ親はそうではありません。よく勉強していますし面倒もみていますから、張り合いを感じています」と訴える早川先生。

夫人と4人の娘、母親との7人家族。毎年の家族旅行が何よりの楽しみだとか。「娘たちも医者志望。それぞれに自身身の志を持って歩んで欲しい」と願う良き父親だ。

先生の長所●几帳面  
先生の短所●しつこいところ  
好きな食べ物●和食  
趣味●旅行、温泉巡り  
好きな言葉●slow but steady  
休日の過ごし方●トレーニングジムに通う



信頼構築を大切に  
てんかんなど神経系に特化

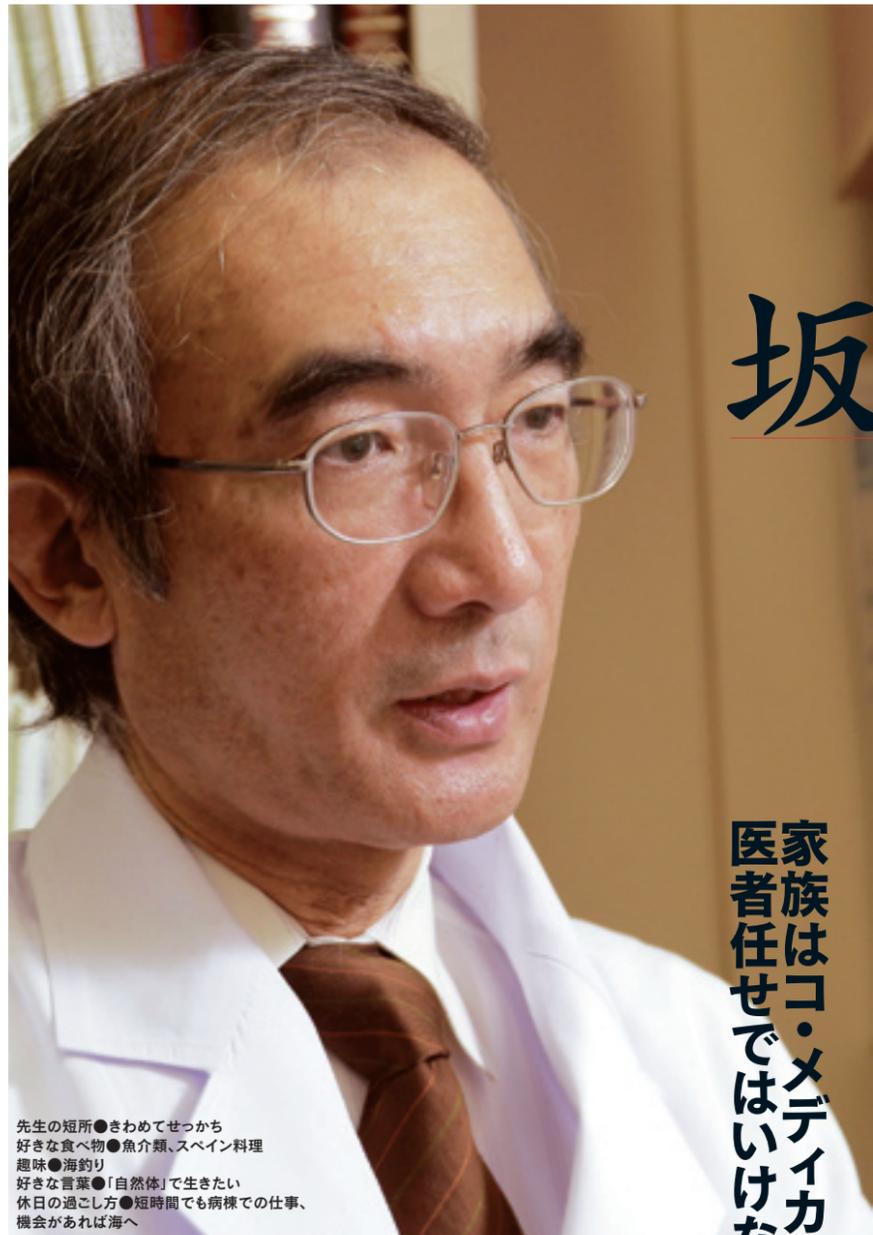
はやかわ小児クリニック  
院長

# 早川武敏

File 37

病院名●  
はやかわ小児クリニック  
住所●  
広島市中区袋町6-46  
TEL●082-247-1890  
役職●院長  
治療を得意とする病気●  
てんかん、小児神経  
外来診察曜日●  
月～金(午前、午後) 土(午前)

家族はコ・メディカルの一員  
医者任せではいけない



先生の短所●きわめてせっかち  
好きな食べ物●魚介類、スペイン料理  
趣味●海釣り  
好きな言葉●「自然体」で生きたい  
休日の過ごし方●短時間でも病棟での仕事、  
機会があれば海へ

実績を誇る  
医師たち  
こどもの病気  
[中国]

# 馬場清

File 39

KIYOSHI BABA  
財団法人 倉敷中央病院  
副院長

病院名●財団法人 倉敷中央病院  
住所●岡山県倉敷市美和1-1-1  
TEL●086-422-0210  
役職●副院長  
治療を得意とする病気●  
子どもの心疾患、川崎病  
外来診察曜日●  
火(午前・午後) 金(午前)

先生の長所●優しく厳し  
先生の短所●表現力不足  
好きな食べ物●奈良漬けと  
白アスパラ以外は何でも  
趣味●読書、陶芸、音楽・美術鑑賞  
好きな言葉●不言実行  
休日の過ごし方●趣味に費やす

治療の大半は心室中隔欠損やファロー四徴症に代表される先天性心疾患。心臓という重要な場所だけに家族の心配も大きい。が、「まず不安を取り除くことと病気を理解していただくことが治療の始まりです」と親しみのある笑顔で語る馬場先生。「患者さんとのコミュニケーションは大切にしていますが、普段は無口なんです。人と話を

するのは本当は得意ではないんですよ」小児科医をめざしたのは「子どもが好きだったから」。心臓手術をした子どもが成人しても生命保険に入れない現状には「医師の立場では完全に治ったとも言えませんが、辛さや矛盾を感じています」と、患者や家族を気遣い、ヒューマニズムに溢れた人柄をうかがわせる。

「心臓病でも悲観することはない」  
治療への自信で安心感を付与

